

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ

■ 事業報告

1 全事業共通

地域の現状と課題について

地域の現状

(1) 人口と地理的な特徴

深谷俣野地域の人口は約 17,000 人となっています。大正連合町内会自治会のうちの 11 町内会自治会が担当エリアとなっています。エリアの北部には横浜市泉区の旧深谷通信所が隣接し、西部には境川が流れ、藤沢市が隣接しています。

エリア内には横浜薬科大学、横浜市立深谷中学校、横浜市立深谷台小学校、横浜市立深谷小学校があります。また 2002 年 2 月に閉園となったドリームランド跡地には俣野公園・横浜薬大スタジアムがあり、昼間人口の変動が大きい地域となっており、高校野球の予選会など開催される時期はにぎやかな地域となっています。

なお、ドリームハイツは海拔 40 メートル以上の高台にあります。旧横浜市立俣野小学校跡地の辺りは海拔 15 メートル以下となっています。高低差があるため、高齢者等にとっては、簡易に外出ができない地域と考えられます。

(2) 地域の高齢化の状況

昭和 40 年代後半に建築されたドリームハイツ（分譲マンション群）の高齢化率は 52% を超える地域となっています。一方、介護保険の申請・認定率が低いのが一番の特徴となっています。担当エリア全体でも高齢化率は 36% を超えており、戸塚区内では一番の高齢化率となっています。なお、75 歳以上の後期高齢者は 19% を超えています。しかし、要介護認定率は戸塚区平均より低く、健康増進に強い関心があり、ケアプラザで開催される健康体操事業などは、非常に人気が高くあり、アクティブに活動するシニア層が多いと思われれます。

地域の課題

(1) 住宅地あった医療機関の減少

閉院や開業時間の削減のため、住民の受診や検診の機会が減少または不足することで要介護状態の方が増加する可能性があると考えています。

(2) 地域サロンの継続的な活動の困難について

課題のひとつである「担い手」の不足や人材の発掘や人材の育成、そして地域全体で支援することで、共助の仕組みづくりが進んでいくと考えられます。

(3) 認知症の方々の権利擁護

悪質商法詐欺（オレオレ詐欺等）の発生事故が絶えません。権利擁護の推進のため、エリア内の金融機関をはじめ、自治会町内会、民生委員児童委員（以下、民生委員）、地域団体との連携が必要と考えます。

(1) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

基本となる窓口相談や電話相談の他、訪問相談では、対象者の方や家族の方々に寄り添いながら、必要な機関と協働で総合的な支援に取り組んでいます。

また、適切かつ速やかに対応できることを目的に、IT技術を活用した社内のグループウェアソフトを使用し、社内掲示板のラベルを【地域交流】【包括】ケースと分類するなどし、相談対応職員が情報共有、連携を図りやすい環境整備に努めると共に、環境にやさしいペーパーレスにもつながっています。

把握したケースは、必要に応じて、区役所、区社協、地域福祉団体、病院、サービス事業所等の関係機関へ必要に応じて、個人情報に留意しながら、適宜、情報提供を行っています。

個別支援だけでなく、家族や地域も含めた包括的な支援を行っていくため、対応記録の共有や情報交換を行いながら、公正、中立な立場で他機関との連携するように努めています。

(2) 各事業の連携

地域包括支援センター・地域交流・生活支援事業・居宅介護全部署で個別ケースだけでなく、地域・家族システム全体をとらえるアセスメント視点を持ち、地域住民、関係機関、専門機関と企業、大学等とのネットワークを十分に生かした運営を行っています。

それぞれの部署の活動の中で、支援が必要と思われるケースについては情報共有を行っています。

また最新の情報や他都市の先行している事例等も柔軟に取り入れながら企業、行政、大学と地域特性に合わせた連携を行うために、<ふう～まあプロジェクト>を立ち上げました。

包括支援センター・地域活動交流・生活支援事業の5職種が連携して、地域への訪問活動を行い、円滑かつ効率的な情報共有のツール（情報共有シート）が完成しました。連携ツールとして、福祉事業所、地域団体へ配布し、今後、ケアプラザの事業や地域支援体制構築のため活用しています。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

法人理念にある「利用者本人を尊重する」ために、特定の事業所に偏ることなく、常に利用者の利益を優先し、複数の事業所情報を提供し、利用者の選択の支援をしました。

ケアプランを作成する際、公正中立な対応を図るため利用者に複数の事業所について情報提供した上で、ケアプランに位置づける事業所が極端に同一事業所に偏らないように決定支援をしました。

毎月、プランの数と一番割合の高い事業所を調べて、記録に残しました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

「地域を知る」をテーマに、<ふう～まぁプロジェクト>を立ち上げ、地域の単位自治会や介護保険事業所、ボランティア団体、社寺、商店、金融機関等に出向き、地域状況や地域資源等のヒアリングをしました。

また収集した地域情報の項目に「各団体の強みや地域に向けてできること」を設け、収集した情報を「地域連携シート」に落とし込み、それら基に事業展開の資料として活用しました。

「地域の見守り仕組み作り」に向けて取り組むために地域ケア会議を開催し、地域の課題や連携構築について考える場を提供しました。

また、<ふう～まぁプロジェクト>の一環として、深谷小・中学生を対象に<ふう～まぁ>のシンボルマークやキャラクターを募集し、ケアプラザを周知しました。

その他、開所1周年を記念し、地域活動ホームやボランティア団体等が出店できる「ケアプラザまつり」を開催しました。

(5) 区行政との協働

区政運営方針、区の事業を踏まえ、第3期とつかハートプラン（以下、ハートプラン）の推進に際しても原宿地域ケアプラザと連携し地域ニーズに対応できるよう包括的な地域支援を行う担当職員を二人配置しました。

大正地区社会福祉協議会、大正連合町内会・自治会、大正東西地区民生委員児童委員協議会等の地域団体と連携した取り組みを行いました。

区役所の関係部署と引き継ぎや連携をして、介護によるストレスやうつ、離職、虐待、孤立の予防など支援を行いました。

地域課題の解決に向けて、積極的に大正地区社会福祉協議会と連携をして、ハートプランの推進、地域ケア会議の開催、協議体の開催を行いました。

見やすく手に取ってもらいやすい広報誌を作製し、地域特有の情報を住民の皆様にわかりやすく伝えました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

5職種が連携し、地域アセスメント実施後の7月に協議体&地域ケア会議を開催しました。

11月にはNPO法人、自治会町内会、学校等、地域の協力を得てケアプラザ祭を開催しました。

ハートプラン推進活動では、アンケートを実施し、結果を地域連携チームと共有し今後の活動方針について検討を行いました。

研修内容や地域情報については、職員会議や5職種会議の他、日常的に相談や情報共有を行いました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

子育て、障害に関わる団体の連絡会に定期的に出席して情報収集し、ケアプラザの広報紙、チラシなどで地域の活動を周知しました。

ケアプラザの施設利用に関しても、多くの人々に理解してもらえるようパンフレットを利用し、口頭では分かりやすく丁寧な説明に努めました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

地域住民の交流の場として『ふかやまたのカフェ』を定期的を開催する中で、個人のボランティア活動のきっかけを作り、その場を提供することができました。

また、ボランティア交流会を開催し、ボランティア同士の意見交換の場を持つことで、活動継続をより潤滑にすることに努めました。

よこはまシニアボランティアポイント登録研修会を開催し、近隣住民の登録者の拡充に努めました。

1月と2月に開催しました傾聴ボランティア養成講座・認知症サポーター養成講座は、障害のある方、高齢者、認知症などへの理解、普及啓発をねらいとし、男性や初めての方も多数参加されました。

今後、高齢者や男性の方々のボランティア活動が広がるように、活動の場を開発していきたいと思えます。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

定期的に地域の施設や活動団体を訪問・見学し、地域の社会資源の現状を把握に努めました。

それらをケアプラザ内で情報共有し、子育て支援に子供たちと関わりを持ちたいと希望する高齢者に参加していただく等、個々の要望をつなぎ合わせるすることができました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

5職種が連携し、地域アセスメント実施後の7月に協議体&地域ケア会議を開催。

11月にはNPO法人、自治会町内会、学校等、地域の協力を得てケアプラザ祭を開催しました。

ハートプラン推進活動では、アンケートを実施し、結果を地域連携チームと共有し今後の活動方針について検討を行いました。

研修内容や地域情報は、5職種会議や日常的に報告・相談をしました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

総合事業サービス B 活動団体のふらっとステーション・ドリーム、夢みんには月 2～3 回程度訪問し、運営状況の把握や参加者との顔の見える関係作りに努めました。

地域包括支援センターとの連携が必須なため活動団体の報告や、ケアマネジャーへの対応方法等の相談を行いました。

また、必要に応じて局、区、区社協への質問や報告を行いました。

地域包括支援センターと共催で栄養講座を開催し、企業の協力を得て介護食の試食会も行うことができ、参加者からは、新しい情報を得ることができたと好評を得ました。

さらに、個別の栄養相談を受け、担当ケアマネジャーと同行訪問や来館相談を行いました。

ハートプラン推進活動については Ayamu のデータを活用し、大正地区の資源の把握や分析を行いました。

(3) 連携・協議の場

民生委員主催のふれあい会食会（計 3 回）に打ち合わせから参加し、民生委員や参加された独居高齢者の方々との関係作りと情報収集を行いました。

地域ケア会議と共催で協議体を開催し、地域データ（人口、介護度等）を共有することで地域を考える機会を提供しました。

今後は課題のある小地域での協議体を開催していきたいと考えています。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

介護予防・生活支援サービス B のケアプラザ意見交換会、活動団体の連絡会を開催、参加し、他区との情報交換を行いました。

原宿地域ケアプラザと月 1 回、コーディネーター連絡会を設け、大正エリアを把握するために情報共有、支援方針を検討しました。

買い物支援の一環として、原宿地域ケアプラザと合同で大正地区のお買い物サービス情報を作成し、ケアマネジャーや民生委員に配布し、必要な方に紹介を依頼しました。

4 地域包括支援センター運営事業

（1）総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

開所して 2 年目に入りましたが、地域への周知が十分でないために、地域活動団体を始め、民生委員や医療機関等に対し、改めてケアプラザや包括支援センターの周知を行いました。

「ふう～まあ情報共有シート」作成のため自治会や町内会、地域活動団体への訪問の他、圏内民生委員児童委員協議会（以下、民児協）への参加では、支援が必要な高齢者の情報提供に応じる等、ネットワークの構築に努めました。

民児協の既存の定例会への参加や、地域における老人会等への出張講座、関係機関で開催される各種会議や地域ケア会議等の活用を通し、関係機関等や地域住民との顔の見える関係作りや社会資源の把握等、ネットワークの構築に向けて取り組みました。

②実態把握

来所相談や戸別訪問等の総合相談の中から、地域や相談者、相談内容、身体状況や生活状況との把握をする他、自主事業のアンケート、区が発行している「区政統計要覧」等も参考に、圏域の情報や分析を行いました。

また、民児協や、地域密着型事業所の運営推進会議等、地域の会議や事業に参加することで、顔の見える関係づくりを行い、気軽に相談や情報提供が受け易い環境作りに勤めました。

生活支援コーディネーターがエリアで収集した地域情報の提供を受け、地域の活動団体への訪問や事業の案内を通して、交流を深め実態を把握するように努めました。

③総合相談支援

社会福祉士・看護師・主任ケアマネジャーがお互いの専門性を活かし、情報共有を行いながら、行政・医療機関・介護保険事業所・民生委員・地域活動団体等と連携を取り、相談者の想いに寄り添った支援に努めました。

来所相談では、相談者の個人情報保護、プライバシーを尊重し、全ての相談は、個室での対応を行っていました。

また所内にて、情報共有ソフトを活用し、その都度情報共有を行い、全職員での対応を切れ目のないように心掛けるとともに、ハートページ等を活用し、中立の立場での情報提供に努めました。

行政とは、月1回の定例会で、地域やケースの情報共有の他、個別ケースの支援方法について検討し、活動する中では、随時、連絡や報告・調整や同行訪問等、連携を取りながら支援を行いました。

隔月で、民児協の定例会に参加し、ケアプラザの広報誌を持参し事業を案内する他、支援が必要な独居高齢者の相談に応じました。

また、支援困難ケースについては同行訪問を行い、必要なサービスや機関につながるよう支援しました。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

老人会等に参加し、地域住民向けに講座の開催を実施しました。

制度の周知や啓発、相談の掘り起こしに努めました。

個別に消費者被害防止、早期解決に向けて、都度、ケアマネジャーや民生委員や区役所など関係機関と連携し、情報共有を行い、消費者保護の周知啓発に取り組むことを心掛けました。

地域の金融機関等への訪問ができていない状況なので、今後は連携するように努めていきます。

②高齢者虐待への対応

区役所や関係機関と連携し、状況確認を訪問やカンファレンスにて適宜実施しました。

また、介護者のためのリフレッシュ事業や勉強会を半年に一度開催し、介護者の負担軽減と介護の知識を深めることを目指し、虐待防止につなげることに努めました。

介護者のための負担軽減を目的とする事業の実施については、既存の当事者組織とも連携を図りながら実施していきます。

③認知症

認知症サポーター養成講座を年2回開催しました。
1回は、近隣スーパーの職員会議を活用し、パート職員の方々向けに認知症サポーター養成講座を実施することができました。
今後も、関係機関のみならず、地域の各団体と連携し、認知症の方に対する制度や相談機関、みつけてネット等などの情報提供と、認知症の方への関わり方などの周知啓発に努めていきます。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

「地域を知る」をテーマに「ふう～まぁプロジェクト」を立ち上げました。
生活支援コーディネーターや地域交流コーディネーターとも協力し、エリアにある9地区の全町内や自治会に出向き、地域情報交流シートを作成しました。

そのシートを基に包括エリアの「地域ケア会議」を開催し、地域情報の共有を行い、それぞれの町内会や自治会の持つ強みやできそうなこと、地域が課題と感じていること等を確認することができました。

この地域訪問で、エリアや地域活動団体、関係機関との連携推進が図れました。

②医療・介護の連携推進支援

地域の医療機関と連携で、退院支援地域情報の提供を行いました。また、円滑在宅復帰に向けて、医療機関と地域のケアマネジャーとの連携のための広報支援を行いました。

地域の医療機関と協働で、2か所の町内会住民に向け「リビングウイル」をテーマに、医療講座を開催しました。その際、併せて地域包括支援センターの周知活動を行いました。

在宅医療拠点で行われる「事例検討会」には定期的に参加し、同検討会への事例提供も行い関係性の構築を行いました。

また、区の包括主任ケアマネジャー連絡会では、医療連携として「ケアマネジャーのための医療機関総合窓口一覧」を作成し、ケアマネジャーと医療ソーシャルワーカーとの情報交換会を開催しました。

③ケアマネジャー支援

ケアマネジャーの質の向上のために、年3回「ケアマネジャー連絡会」を開催しました。

「ターミナルプランを考える」をテーマに、終末期の利用者に対するケアマネジャーの役割について考え、その人らしい終末期を迎えるために、ケアマネジャーとして何ができるかを考える場を提供しました。

講師として、訪問診療在宅医・緩和ケア認定看護師（訪問看護事業所）・認定がん専門相談員（MSW）に協力を得、講座終了後は、ケアマネジャーと講師の間で、意見交換や情報交換ができ、それぞれの機関との関係構築のために支援を行いました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

「ふう～まネットワーク情報共有シート」作成のため、5職種で連携して、町内会・自治会の他、地域活動団体や介護保険事業所を訪問しアセスメントを実施しました。出来上がった「情報共有シート」を基に、情報シートに掲載されている関係機関や事業所が参加し、エリアの地域ケア会議を開催しました。会議の中では、それぞれの地域の強みや課題や課題を共有することができました。次年度以降、多職種で協働し、課題の整理や解決に向かうために、更なるネットワーク構築支援のための取り組みが必要であることを確認できました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防・生活支援サービス補助事業を行っている補助団体が地域に3か所あり、それらの団体と情報交換を行い、ケアマネジャーに対して、補助団体の活動内容や、生活支援コーディネーターが作成した「地域の買い物宅配情報等」のパンフレットを配布する等の情報提供を行いました。

介護予防ケアプランの中には、情報が反映され、補助団体やインフォーマルサービスが記載されているプランが多数作成されています。

また、ケアマネジャーからサービス補助団体についての問い合わせもあり、エリアの地域性が徐々に周知されてきているようすが伺えます。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

健康作り教室はシリーズを通して人気となり、会終了時にOB会が発足しました。GOGO健康講座においては、新規参加者の確保に苦戦を要し、次年度以降の開催方法を検討が課題として挙げられます。

認知症予防の観点から、3回シリーズで地域住民への啓発活動として講座を開催し、認知症に対する普及活動に努めました。

また、区の職員と共に地域の老人会の集まりに出かけ、介護予防の普及啓発活動に努め好評を得ました。

5 その他

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

基本協定書第 22 条に基づき、地域の住民の利用者様が地域ケアプラザを気持ちよく、安全、安心してご利用いただけるように、設備の保全、清潔維持のため下記の通り実施しました。

1 専門業者による業者委託

委託により下記項目を実施し、適正な管理保守点検業務に努め、現在のところ、異常はありません。

- ① 定期清掃・・・・・・・・・・(年 12 回)
- ② 窓ガラス清掃・・・・・・・・(年 6 回)
- ③ 網戸清掃・・・・・・・・・・(年 1 回)
- ④ 夜間機械警備・・・・・・・・(毎 夜)
- ⑤ 排水管清掃・・・・・・・・・・(年 1 回)
- ⑥ エレベーター保守・・・・・・(年 12 回)
- ⑦ 自動ドア保守・・・・・・・・(年 4 回)
- ⑧ 消防設備点検・・・・・・・・(年 2 回)
- ⑨ 空調換気扇フィルター清掃・・(年 2 回)
- ⑩ エアコンフィルター清掃・・・・(年 2 回)
- ⑪ 害虫駆除・・・・・・・・・・(年 1 回)
- ⑫ 非常用照明設備・・・・・・・・(年 1 回)

2 日常点検による早期の対応

日常清掃や業務のなかで設備全般の不具合や故障等の早期発見に努め、適切に対応することに努めました。30 年度は故障、不良はございません。

- ① 夜間日常清掃
- ② 感染予防消毒(冬期流行期)
- ③ 植栽(除草など)
- ④ 排気窓の動作確認(第三金曜日実施)
- ⑤ ポータブル加湿器の清掃(レジオネラ症対策に準ずる)

3 日常(毎日)防火点検(消防計画書に準ずる)

- ① 防火扉区画点検～各階エレベーター前の障害物の有無確認
- ② 通路・階段点検～避難経路の障害物の有無確認
- ③ 消防設備点検～消火器の有無確認

- ・ 4 階 廊下
- ・ 3 階 廊下
- ・ 3 階 調理室
- ・ 2 階 事務所
- ・ 1 階 エレベーター横
- ・ 1 階 駐車場内 二個

- ⑤ 火器点検～ガス元栓、給湯器電源

(2) 効率的な運営への取組について

1 運営費の効率化にむけて

同法人内にある一部の施設と共同の一括契約により、ネットワークサーバー、ネットワークパソコン、セキュリティーrouterなどの購入、設置、年間保守契約を実施し、効率的な運営費用の削減に努めました。

2 情報共有や共通認識と質の向上にむけて

- ① ケアプラザ職員による毎月の会議とケアプラザ5職種会議、居宅支援事業所のケアマネジャーによる毎週水曜日の会議のほか、毎朝の朝礼後、ミーティングを行い、日々発生する重要な情報の発信、内容の確認等を実施。さらに、その内容を社内メール（電子掲示板）で配信し、情報共有の向上を図りました。

また、上記以外にも社内メールの活用等により職員相互が必要な情報を共し、協働体制で業務にあたりました。

共通認識をするため、部署ごとに毎月の目標を設定し、目標に対する達成度などについて振り返り、発表し、効率的な運営をするべく業務に取り組ましました。

- ② 部屋利用者の方に毎回意見等を記入できる用紙を渡して日常的に意見を求めるとともに、運営協議会の開催（10月と3月の年二回）、地域包括支援センターの公正・中立性の確保のためのアンケートの実施、利用者アンケートの実施（10月）をしました。なお、結果は2階の廊下に掲示の上、苦情解決第三者委員会にて報告しました。

戸塚区地域ケアプラザ事業実績評価の自己評価（戸塚区職員によるヒアリング）等により、関係者の意見を指定管理業務に反映させるよう努めました。

(3) 苦情受付体制について

- ① 10月に利用者アンケートを実施し、苦情や要望への対策を検討・実行するとともに、アンケート結果・改善策について、二階の廊下に掲示し自由に閲覧ができるようにしました。

- ② 1月28日に苦情解決第三者委員定例会議を開催し、アンケートの結果や苦情・要望受付内容及び対応について委員の方へ報告をし、ご意見を伺いました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ① 夜間PM9:00まで開館している上、不特定多数の方々が来所することから、17時以降はケアプラザへ来館される場合には、玄関でインターホンによる対応とし、防犯カメラの活用、セコムと契約して、緊急時駆けつけベルの活用など、日常的に防犯・安全に努めました。
- ② 6月 深谷消防署による査察。消防設備点検の確認、防火扉開閉付近の障害物の有無確認、3階調理室の使用状況確認、職員と利用者の最大滞在人数の確認、消火器の有無の確認があり、問題はありませんでした。
- ③ 防災計画に通り、防災・避難訓練（6月と3月）を深谷消防出張所の協力を得て実施。3月は利用団体の深谷元気会（体操グループ）の27名様の協力を得て、避難活動を行いました。また6月と3月に二回とも、一階駐車場で水消火器による消火訓練も実施しました。
- ④ 日報のチェックリストにより職員が毎日、館内日常巡回や点検を行いました。また夜間閉館後は機械警備による警備で月次報告書にて報告を受けました。年間を通して防犯上の問題はありませんでした。
- ⑤ 福祉避難所（特別避難場所）開設マニュアルの作成を行いました。また福祉避難所（特別避難場所）応急備蓄物資について、備蓄状況の確認及び横浜市へ備蓄物資配付申請を行い、三階多目的ホールと四階倉庫に保管しました。
- ⑥ 緊急時の対応等について職員に周知徹底するため、対応マニュアルを整備のための担当を配置しました。またノロ等の感染症への初期対応と対策について、備品の確認と実施手順の確認を行いました。

(5) 事故防止への取組について

自転車車両、社用車車両、通勤災害、事務事故の防止にむけて、次のとおり実施しました。

- ① 横浜市から提供される事務事故の事例内容の確認や、朝礼、ケアプラザ会議、部署別会議でその内容を検証し、具体的な解決策を検討し実行するなど、発生の防止に取り組みました。
- ② 職員全体会議において各部署より事故報告を行い、全職員の事故防止意識を高めるよう取り組みました。
- ③ 車両事故等について、社用車による対物事故が一件ありました。事故を発生した職員に再発防止について、振り返りを行いました。
なお、事故対応については、同日中に現地確認と本人と所長が同行して謝罪し、復旧工事の業者手配も速やかに行い完了しました。（事故報告書を区役所に提出済）

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

(1) 地域ケアプラザの管理に関する年度協定書 第 27 条にある個人情報の保護に基づき、下記とおり実施しました。

- ① 法人の「個人情報取扱規則」に基づき、個人情報及び文書等の管理体制について職員に周知し、入職時のオリエンテーションでは全職員に「個人情報に関する誓約書」の提出を義務付け実施しました。
- ② 個人情報漏洩防止のため、FAXによる個人情報を送信する際は2名以上の複数による送信先番号の照会チェックと個人と特定される情報の記載が記されていることを確認して、通常業務を遂行しました。
また、個人が特定できる情報の削除等具体的なルールについて職員に周知徹底するとともに、横浜市「個人情報漏洩防止チェックシート」による自己チェックを実施し、緊張感を持って個人情報を取り扱うよう意識付けを行いました。
- ③ 個人情報を取り扱う場合に従事者が遵守すべき事項並びに従事者が負うべき横浜市個人情報の保護に関する条例に基づく罰則の内容及び民事上の責任についての研修を実施し、「個人情報保護に関する誓約書」及び「研修実施報告書」を戸塚区に提出しました。
- ④ 個人情報の流出を避けるため、すべてのパソコンにウイルス対策ソフトを導入し、常に最新のデータベースを更新し、外部からの不正アクセスに対してセキュリティ対策を施しています。
- ⑤ すべてのパソコンについて、第三者が個人情報データを見ることができないよう各自がパスワードを設定するとともに、退勤時には、ノートパソコンは鍵付き書庫に収納し、盗難防止対策を実施しています。
- ⑥ USB等外部媒体への個人情報の使用禁止を徹底しています。

(7) 情報公開への取組について

- ① 広報紙「ふかやまたの」を、大正地区連合町内会を通して地域に回覧した他、近隣の幼稚園・保育園、小中学校、医療機関、地域ケアプラザ、子育て支援拠点等、関係機関への郵送を行い、ケアプラザや地域の取り組みについて周知を行いました。
- ② 利用者アンケート結果や介護保険事業の運営規程等館内掲示するとともに、事業報告書・計画書を事務所受付に配置し来館者が自由に閲覧できるようにしました。
- ③ 介護保険事業については、10月に「介護サービス情報の公表」制度における調査票を提出し、「神奈川県介護サービス情報公表システム」にて基本情報が公表されました。
- ④ 公式ホームページが10月から開設されました。深谷俣野地域ケアプラザのパフレットと広報誌のダウンロードができるようにしました。

(8) 人権啓発への取組について

- ① 人権についての理解を深め、人権に対する正しい知識を身に着けるよう、認知症の理解、人権の擁護に理解について、周知に努めました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ① ごみの分別収集、パソコン等のデータ管理による紙の使用量減少、両面コピーやコピー用紙の裏紙使用、ヨコハマ3R夢プランの推進に向け、リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）を中心にゴミ減量に取り組みました。
- ② 館内照明の使用していないエリアの消灯（2階の事務所は昼食時や職員の帰宅後）エアコンの温度設定を基本的に夏・冬とも25度としました。省エネに努めるように呼びかけました。
- ③ 日常清掃・定期清掃による環境整備、節水・節電、車の使用を抑え電動自転車を活用すること等環境等への配慮を意識して取り組みました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者1名 常勤兼務1名
保健師等1名
社会福祉士1名
主任介護支援専門員1名

《目標に対する成果等》

介護予防ケアマネジメントにおいては、インフォーマルサービスを積極的に介護予防プランに取り入れられるよう、介護予防・生活支援サービス補助団体の活動内容や、地域の買い物宅配情報等、地域情報の提供を積極的に行いました。
ケアマネジャーの方から、サービス補助団体についての問い合わせもあり、エリアの地域性が徐々に周知されてきているようすが伺えます。

《実費負担》

- 実費負担なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

エリアには「介護予防・生活支援サービス補助事業」を受けている団体が3団体あります。

利用者が介護保険事業所だけでなく、地域の多様な主体からの支援も受けながら、地域とのつながりを維持でき、その担い手になることで社会参加が促進できるように、それらの団体と情報共有等の連携を行い、様々な角度から支援に取り組んでいます。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
69	69	75	74	76	72
10月	11月	12月	1月	2月	3月
79	84	83	84	89	89

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

居宅介護支援事業所 管理者常勤兼務 1 名
主任介護支援専門員 1 名
介護支援専門員常勤 2 名

《目標に対する成果等》

- ・利用者の皆様が住み慣れた地域において、その人らしく、自立した生活を送ることができるよう、本人、家族、地域の方々、介護・医療・福祉の各関係機関と連携しチームとして支え合い、適切なケアマネジメントを行えるように努めた。
- ・多様なケースに対応できるよう積極的に研修等に参加し、専門職として自己研鑽に努めた。
- ・地域包括支援センターと協力しながらケース対応に努めるとともに、研修に行くなど自己研鑽を行うことができた。

《実費負担》

- 実費負担なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

利用者の意思を尊重し、心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者が自立した生活を営むことができることをケアプラン位置付けました。
また同建物の地域包括支援センターと連携して、緊急対応や土日祝日の対応などを実施しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
70	64	73	70	76	70
10月	11月	12月	1月	2月	3月
72	70	76	81	80	79

平成30年度「横浜市深谷県野地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,334,366	0	18,334,366	15,007,175	3,327,191	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	54,930	△ 54,930	
雑入	0		0	5,200	△ 5,200	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料			0	4,200	△ 4,200	
駐車場利用料収入			0	0	0	
その他 (指定管理料充当)	0		0	1,000	△ 1,000	横浜市社会福祉協議会研究会役員交通費
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)			0	0	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)			0	0	0	
収入合計	18,334,366	0	18,334,366	15,067,305	3,267,061	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,835,307	0	10,835,307	9,334,489	1,500,818	
本俸	7,788,000		7,788,000	6,335,405	1,452,595	
社会保険料	859,000		859,000	604,425	254,575	
手当計	1,846,307		1,846,307	2,075,692	△ 229,385	
健康診断費	108,000		108,000	66,886	41,114	
勤労者福祉共済掛金	151,000		151,000	150,187	813	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	83,000		83,000	79,494	3,506	
その他	0		0	22,400	△ 22,400	インフルエンザ予防接種代
事務費	1,375,487	0	1,375,487	1,540,128	△ 164,641	
旅費	50,000		50,000	38,840	11,160	利用者訪問・会議参加交通費・駐車場代等
消耗品費	345,000		345,000	361,010	△ 16,010	事務用品・コピー用紙・OA消耗品・日用品
会議開費	0		0	0	0	
印刷製本費	234,000		234,000	199,369	34,631	コピーカウント料
通信費	491,000		491,000	292,596	198,404	電話・インターネット回線使用料・切手・はがき代
使用料及び賃借料	0	0	0	4,200	△ 4,200	
横浜市への支払分			0	4,200	△ 4,200	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	8,710	△ 8,710	書籍代
施設賠償責任保険			0	0	0	
職員等研修費	14,000		14,000	857	13,143	研修参加費・研修参加交通費
振込手数料	5,000		5,000	648	4,352	振込手数料
リース料	49,000		49,000	123,734	△ 74,734	玄関マット・モップレンタル代
手数料	46,000		46,000	54,114	△ 8,114	OA銀行・携帯初期設定・塵芥処理料・税理士顧問料
地域協力費	15,000		15,000	2,511	12,489	来客用お茶代
その他	126,487	0	126,487	453,539	△ 327,052	会計事務所監査報酬、事務機器OA保守、諸会費等
事業費	341,454	0	341,454	122,123	219,331	
運営協議会経費	42,000		42,000	18,829	23,171	
指定管理料充当 事業	299,454		299,454	103,294	196,160	
管理費	4,915,293	0	4,915,293	3,323,806	1,591,487	
建築物・建築設備点検		0	0	0	0	
光熱水費	1,971,293	0	1,971,293	979,380	991,913	
電気料金	900,000		900,000	851,616	48,384	
ガス料金	540,000		540,000	8,176	531,824	
水道料金	531,293		531,293	119,588	411,705	
清掃費	1,100,000		1,100,000	1,119,741	△ 19,741	施設日常清掃業務・定期清掃・その他
修繕費	474,000	0	474,000	15,358	458,642	電話機修理
機械整備費	190,000		190,000	189,411	589	施設整備
設備保全費	1,180,000	0	1,180,000	1,019,916	160,084	
空調衛生設備保守	150,000		150,000	147,433	2,567	空調用設備点検1回
消防設備保守	110,000		110,000	106,650	3,350	消防設備点検(一式)
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	920,000		920,000	765,833	154,167	昇降機・自動ドア点検、配水管洗浄
共益費			0	0	0	
その他			0	0	0	
公租公課	866,825	0	866,825	746,759	120,066	
事業所税			0	0	0	
消費税	866,825		866,825	746,759	120,066	
印紙税			0	0	0	
その他 ()			0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一対対応費			0	0	0	
支出合計	18,334,366	0	18,334,366	15,067,305	3,267,061	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入			0	54,930	△ 54,930	自主事業への参加料等
自主事業費支出			0	103,294	△ 103,294	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 48,364	48,364	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	4,200	△ 4,200	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	4,200	△ 4,200	使用料(横浜市への支払分等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

**平成30年度「横浜市深谷俣野地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞**

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	23,338,713	128,042	23,466,755	21,614,521	1,852,234	横浜市より
指定管理料（介護予防）	148,250		148,250	148,303	△ 53	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000	5,718,359	70,641	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業（包括）	0		0	0	0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0	0	0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0	0	0	
自主事業収入			0	19,200	△ 19,200	
雑入	0	0	0	770	△ 770	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（指定管理充当）	0		0	770	△ 770	
その他（提案時控除 法人負担分）			0	0	0	
収入合計	29,275,963	128,042	29,404,005	27,501,153	1,902,852	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	24,468,090	0	24,468,090	24,376,253	91,837	
本俸	12,437,000		12,437,000	12,470,296	△ 33,296	
社会保険料	3,220,000		3,220,000	3,198,619	21,381	
手当計	7,793,090		7,793,090	7,704,677	88,413	
健康診断費	65,000		65,000	32,136	32,864	
勤労者福祉共済掛金	585,000		585,000	536,423	48,577	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	368,000		368,000	421,302	△ 53,302	
その他			0	12,800	△ 12,800	インフルエンザ予防接種代
事務費	2,114,572	128,042	2,242,614	1,737,197	505,417	
旅費	77,000		77,000	38,310	38,690	利用者訪問・会議参加交通費・駐車場代等
消耗品費	447,000		447,000	185,426	261,574	事務用品・コピー用紙・OA消耗品・日用品・ゴム印等
会議随い費			0	0	0	
印刷製本費	249,000		249,000	214,686	34,314	コピー・カウント料
通信費	477,000		477,000	423,055	53,945	電話・インターネット回線使用料・切手・はがき代
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費			0	48,600	△ 48,600	電話機
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	0	0	
職員等研修費	28,000		28,000	17,857	10,143	研修参加費・研修参加交通費
振込手数料	3,000		3,000	1,512	1,488	振込手数料
リース料	49,000		49,000	0	49,000	
手数料	46,000		46,000	54,114	△ 8,114	OA銀行・携帯初期設定・塵芥処理料・税理士顧問料
地域協力費	10,000		10,000	0	10,000	
その他	728,572	128,042	856,614	753,637	102,977	会計事務所監査報酬、常勤職員増員分のPC等
事業費	1,386,704	0	1,386,704	504,164	882,540	
協力医	630,000		630,000	168,000	462,000	
指定管理料充当事業（包括）	299,454		299,454	69,001	230,453	
指定管理料充当事業（介護予防）	148,250		148,250	148,303	△ 53	
指定管理料充当事業（生活支援）	309,000		309,000	118,860	190,140	
管理費	1,306,597	0	1,306,597	883,539	423,058	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	
光熱水費	517,347	0	517,347	260,341	257,006	
電気料金	246,000		246,000	226,388	19,612	
ガス料金	133,000		133,000	2,167	130,833	
水道料金	138,347		138,347	31,786	106,561	
清掃費	300,000		300,000	297,651	2,349	施設日常清掃業務・定期清掃・その他
修繕費	126,000		126,000	4,082	121,918	電話機修理
機械警備費	51,000		51,000	50,349	651	施設警備
設備保全費	312,250	0	312,250	271,116	41,134	
空調衛生設備保守	39,900		39,900	39,191	709	空調用設備点検1回
消防設備保守	28,350		28,350	28,350	0	消防設備点検（一式）
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	244,000		244,000	203,575	40,425	昇降機・自動ドア点検、配水管洗浄
共益費			0	0	0	
その他			0	0	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他（ ）			0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一対対応費			0	0	0	
支出合計	29,275,963	128,042	29,404,005	27,501,153	1,902,852	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	0		0	19,200	△ 19,200	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0		0	187,861	△ 187,861	自主事業経費
自主事業収支	0		0	△ 168,661	168,661	

管理許可・目的外使用許可収入			0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出			0		0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

平成30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市深谷俣野地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	4176	4724	-548	22873	14322	8551			0			0
	その他	4902	5302	-400	1811	1411	400	0	0	0	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費	4902	5302	-400	1353	1396	-43			0			0
	事業・負担金収入			0			0			0			0
	受託事業収入・その他			0			0			0			0
	受取利息配当金収入			0	1	0	1			0			0
				0			0			0			0
	その他			0	457	15	442			0			0
	収入合計(A)	9078	10026	-948	24684	15733	8951	0	0	0	0	0	0
	支出	人件費			0	19417	17486	1931			0		
事務費				0	5030	4590	440			0			0
事業費				0	237	150	87			0			0
管理費				0			0			0			0
その他		6929	8086	-1157	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者負担軽減額				0			0			0			0
消費税				0			0			0			0
介護予防プラン委託料		6929	8086	-1157			0			0			0
				0			0			0			0
その他				0			0			0			0
支出合計(B)	6929	8086	-1157	24684	22226	2458	0	0	0	0	0	0	
収支(A)-(B)	2149	1940	209	0	-6493	6493	0	0	0	0	0	0	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ふかやまたのカフェ	地域住民	46,461	地活	10861	35,600			46,461	
	特になし		包括						
	100円		介護						
			生活						
世界のおもちゃであそぼう	地域住民	869	地活	869					869
	特になし		包括						
	無料		介護						
			生活						
ふかやまたの健康サロン	地域住民	11,137	地活	11137			11,137		
	30名		包括						
	無料		介護						
			生活						
ふう～まあケアプラザ祭り	地域住民	44,827	地活	25497		19330			44827
	特になし		包括						
	無料		介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
つばきの会	高齢者	19943	地活	743	19,200		5,568		14,375
	20名		包括						
	1回100円		介護						
			生活						
認知症予防塾	高齢者	7,684	地活	7684			7,124		560
	30名		包括						
	0		介護						
			生活						
介護者教室 & リフレッシュ事業	地域住民(介護者)	15,000円	地活	15000			15,000		
	21名		包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
シニアの健康作り教室	高齢者	93,360	地活	93,360			90,000		3,360
	30名		包括						
	0		介護						
			生活						
GOGO健康講座	高齢者	43,120	地活	43,120			42,000		1,120
	30名		包括						
	0		介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額						
	②募集人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
協議体	地域住民	8860	地活					
	参加者 43名		包括					
	参加費 0円		介護					
			生活	8860			8860	
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ふかやまたの カフェ	目的： 閉じこもり予防、ひきこもり予防、地域の交流の活性化 ボランティア活動の場の提供 内容：週一回、コーヒーを飲みながらお喋りができる。イベントの日には地域のボランティアによる楽器演奏や、歌の会、けん玉教室などを実施 ◎延べ参加人数679名 より多くの方の居場所になるよう今後も工夫を重ねる。	月4回 計50回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぼかぼか つどいの広場 きらきら・俣野 保育園共催	目的：未就園の子育て中の親の支援 内容：多目的ホールでの遊びの場の提供・保育士や先輩ママなどからの助言の場の提供 ◎延べ87名参加 次第に保護者同士の交流も始まっているように見える。今後は子育て世代だけでなく、地域の住民も参加できるような場に展開していく。目的は地域で顔見知りを増やすこと	月一回 第三水曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大正プロジェクト	目的：個別支援級の児童の余暇活動の場の提供 内容：軽い運動や、風船遊び、トランプや塗り絵遊びなど ◎2家族と支援者の参加 数は少なかったが、児童が放課後の時間を楽しく遊ぶこと、保護者のレスパイトにつながった	年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絵手紙教室 たんぽぽ	目的：絵手紙を描きながら、地域の交流の場の提供 ◎延べ87名参加 四季折々のアイテムをそれぞれ持ち寄って、好きなものを自由に描いていくスタイルで、スキルの上達もさることながら、グループのつながりも強まっていたようである 次年度以降は自主化をめざす	月一回 第二火曜日

平成30年度 自主事業報告書

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
傾聴ボランティア養成講座	目的：地域の高齢者や、障がいのある方のみならず普段の生活の中での人間関係をスムーズに運ぶための傾聴を学ぶ。傾聴ボランティアを養成し、地域の活動につなげる。 ◎ 18名参加。その中の数名が、以後の活動を始めるための勉強会の実施もした。	全三回講座

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自分をいたわりながら、家族をケアする方法	目的：精神疾患や、引きこもりの家族や友人を支える方たちが、こころの健康を保つヒントを得る 内容：ハートレジリエンス協会による、自律神経の働きについての説明、当事者とのかかわりの中で境界線を引くことの重要性について ◎ 25名参加。家族友人だけでなく支援者の参加者も多く、地域の支援団体へ両者をつなげるきっかけになった。当事者との距離感の保ち方の参考になったとの声も多く上がった。	3月30日・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふう～まあケアプラザ祭	ケアプラザの周知と、地域住民の交流のため実施 地域の福祉の団体による飲食物の販売、ハートプランの周知活動、ケアプラザの利用団体の活動発表、健康測定、こども向け遊びのスペース(世界のおもちゃであそぼう) ◎おおよそ400名の来館があり、周知や交流には大きな効果があった。その後ケアプラザの団体活動の参加者も増加した。	11月23日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
世界のおもちゃであそぼう	目的：ケアプラザの子育て世代への周知、子育て世帯のつながり作り、多世代交流 ◎見守りボランティア3名、参加者21名 多世代にわたる参加者が、自由に関わりながら時間を過ごした。	9月22日 1回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て連絡会	地域の子育て支援に関わる団体や拠点だけでなく、高齢者支援団体、施設等と連携し、支援者の担い手作り、多世代交流、子どもの居場所問題などについて、意見交換や活動交流などを行う為開催 ◎延べ63名の参加者 各団体のイベント情報の共有、とことこフェスタ、公園遊びのサポート、子育てサポートシステムの説明・事例紹介、地区の課題の抽出	3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい学習会	年齢にとらわれない障がいのある子どもの地域の居場所作りや障がいへの理解や啓発 障がいのある子どもを持つ保護者と地域住民との情報交換会を開催 ◎延べ61名の参加 クローバー、地域活動ホームひかり、戸塚エコー、キャベツ畑 窓、移動支援サービス代表などの方も参加して、各機関の説明があった。保護者の相談なども適宜受けていた	年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	認知症の方やその家族を地域で温かく見守る為、認知症に対する正しい知識と理解をもち、今までどおり住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを目的として開催 ◎傾聴ボランティア養成講座の最終回に実施 認知症の理解をふかめるためにとっても効果があった。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成30年度 自主事業報告書

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
自主事業 認知症予防塾	認知症についての正しい知識の習得や、認知症予防に効果があるコグニサイズや笑いヨガを取り入れた講座を、専門の講師を招き3回シリーズで開催した。	9月1日 9月15日 9月22日 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催事業 つばきの会	高齢者の介護予防絵を目的とし、ラジオ体操を中心に、東京五輪音頭や、認知症予防に効果のあるコグニサイズ、機能回復のためのリハビリ体操を取り入れた体操教室を保健活動推進員との共催事業として年8回開催した。	6月10日 7月1日 9月2日 10月7日 11月4日 12月2日 2月3日 3月3日 計8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成30年度 自主事業報告書

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
共催事業 深谷元気会	シニアの健康作り教室のOB会として平成30年8月より発足。ロコモティブシンドローム予防のため、専門の講師を招き、椅子やセラバンド、ボールを使用した体操教室を月2回開催した。会の安定的な開催を目的に包括との共催で絵の開催になっている。	毎月第1・第3 月曜日 計16回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成30年度 自主事業報告書

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者教室&リフレッシュ事業	在宅で介護されている方の思いを当事者同士で共有し、精神的な負担の軽減を図り、虐待防止につなげる。また、介護に関する情報提供を行うとともに、介護をする上での知識を深めるために下記の講座を実施。「介護食&栄養講座」(8月16日)として管理栄養士による講座を実施。介護食の試食も行った。また、日々の介護疲れを癒して頂き、笑い文字を書いてリフレッシュして頂くことを木呈に「笑い文字ありがとう講座」(10月29日)も開催した。	8月16日 10月29日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
老いの不安(ちょっとでも)解消講座	成年後見制度単体講座では、なかなか集客できない現状があるため、より多くの方への制度の周知、理解を深めていただくことを目的に地域の方の関心がより高い「相続」や「介護」等とからめて講座を開催。	5月26日 6月2日 6月9日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
基本のキ講座『成年後見制度について』	成年後見制度単体講座では、なかなか集客できない現状があるが、少しでも制度について知って頂くための講座として、少人数でお茶を飲みながらフランクに聞いて頂ける講座として実施。	10月25日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	地域住民が認知症でも安心して住みやすい地域を目指し、認知症症状に関する理解、認知症の方との接し方など、認知症について正しく理解することを目的として開催。9月11日は、ハーモス深谷店にてパート従業員の方々を対象として実施。9月28日は認知症予防塾を看護職と共に企画し、4回シリーズの内のひとつの回として実施している。	9月11日 9月28日

平成30年度 自主事業報告書

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防普及強化業務委託 GOGO健康講座	ロコモティブシンドローム予防、口腔機能向上、栄養改善それぞれについての講座を各2回ずつ、ケアプラザにて開催した。	10月4日 10月11日 10月18日 10月25日 11月1日 11月8日 計6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防普及強化業務委託 シニアの健康作り教室	ロコモティブシンドローム予防のため、地域住民を対象にした体操教室を、講師を招き講座を6回シリーズで開催した。	5月7日 5月21日 6月4日 6月18日 7月2日 7月16日 計6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成30年度 自主事業報告書

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シニアボランティアポイント登録研修会・施設連絡会（地域交流共催）	元気な高齢者が地域の介護施設等でボランティア活動を行うことにより、ご本人の健康維持と介護予防、社会参加・地域貢献を通じた「生きがいづくり」の促進のために開催。 またサービスB活動団体が対象になり、計3回開催。	11/26 12/14 3/5

事業名	目的・内容	実施時期・回数
傾聴ボランティア養成講座&認知症サポーター養成講座（地域交流共催）	傾聴の基礎、ボランティアの心得などグループワークを中心の連続講座。高齢者施設や個人宅訪問も多いため、認知症サポーター養成講座も同時に開催。講師はNPO法人シニアライフセラピー研究所。	1/22 1/29 2/5

事業名	目的・内容	実施時期・回数
協議体	地域ケア会議と共催で協議体を開催。 自治会・町内会、地域資源等とのネットワークの構築（顔の見える関係作り）と課題抽出を行う場とした。 ・生活支援体制整備事業についての説明（協議体） ・各団体の活動紹介 ・地域課題についての検討会（グループワーク）	7/24

事業名	目的・内容	実施時期・回数
食事会・栄養講座（包括共催）	在宅で介護をされている介護者が、要介護者の食事情に対して、日頃持たれている疑問や悩みについて少しでも解消できるように、介護食等の試食を含めた体験型講座として開催。 具体的な内容としては、嚥下力、咀嚼力が低下してきた際の食事と栄養の取り方について。脱水症状になりがちな方の対処法。少量でエネルギーがとれる食事についてなど。	8/11

平成30年度 自主事業報告書

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護食品の試食会 (包括共催)	食事会・栄養講座（包括共催）と合同で試食会を開催。 咀嚼嚥下困難な方の食品、少量で栄養を摂取できる食品等を商品紹介・試食を行った。 協力企業：渡辺商事（株）在宅係	8月11日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
第3回 介護予防・生活支援サービス補助事業 地域ケアプラザ意見交換会	サービスB活動団体との関わりの中で悩みや課題に感じていること、工夫していることなどについての情報共有を行う。（参加メンバー：横浜市健康福祉局、区役所、区社協、ケアプラザ等）	9月11日

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数